

令和2年度 ワカメ養殖情報第4号（令和2年12月22日）

- ・11月30日から12月3日に実施した海洋観測の0海里表面の栄養塩は、黒埼42 $\mu\text{g/L}$ 、トドヶ埼37 $\mu\text{g/L}$ 、尾埼41 $\mu\text{g/L}$ 、椿島44 $\mu\text{g/L}$ でした（図1）。
- ・船越湾吉里吉里漁場で12月15日に測定した表面の栄養塩は47 $\mu\text{g/L}$ でした。引き続き、栄養塩や水温の変化に注意して養殖管理を行ってください。

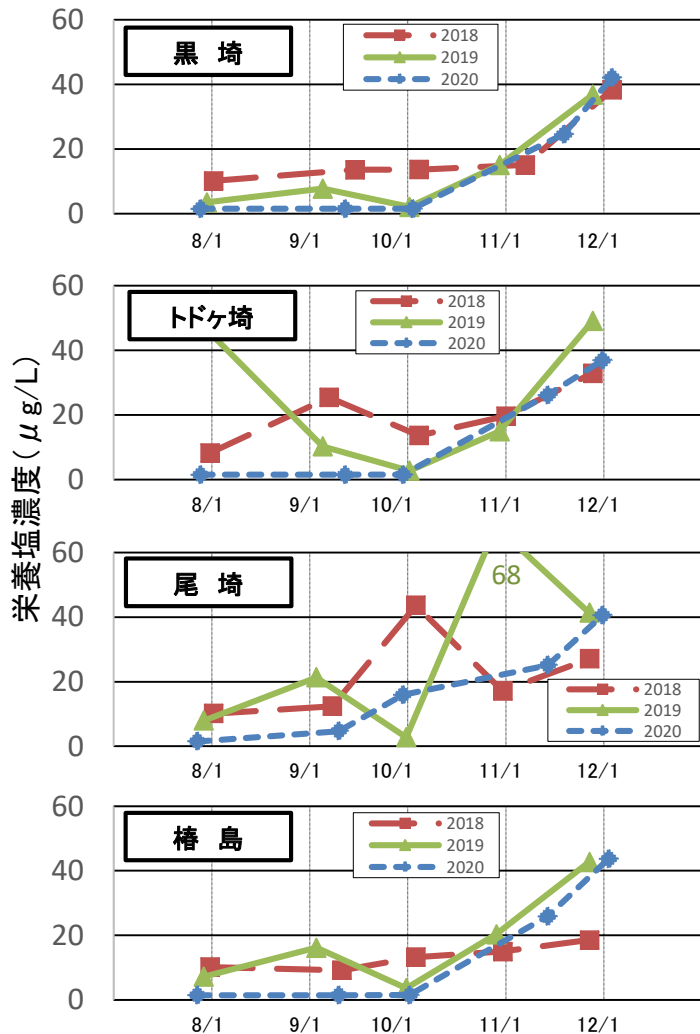
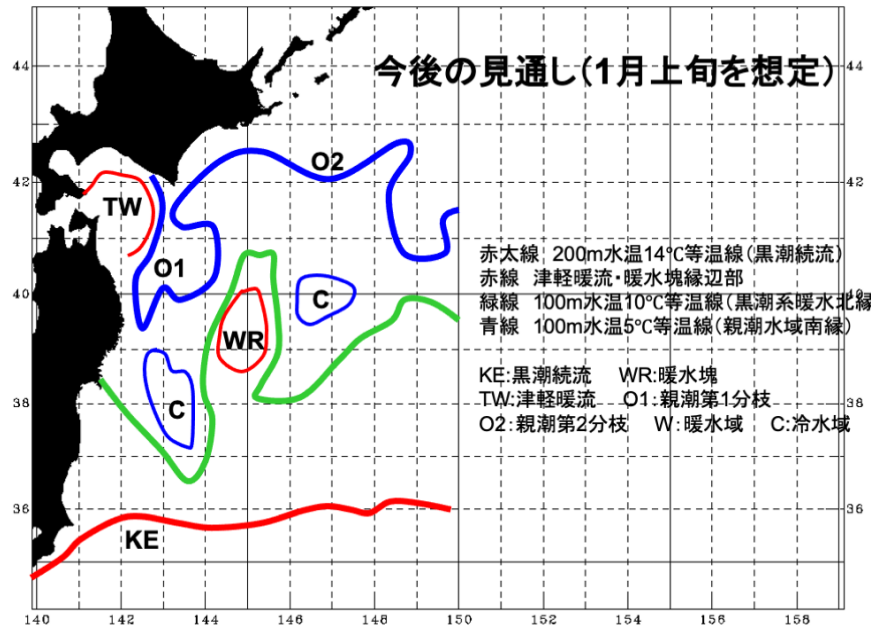


図1 0海里での栄養塩濃度の推移



水産研究・教育機構公表の2020年度第4回東北海区海況予報より引用

【今後の見通し（～令和3年1月）のポイント】

- ・近海の黒潮続流の北限位置は、やや南偏で推移する。
- ・親潮第1分枝の張り出しは、極めて南偏からやや北偏で推移する。
- ・常磐沖に親潮第1分枝に連なる冷水塊が形成され、三陸沖の暖水塊は停滞する。

